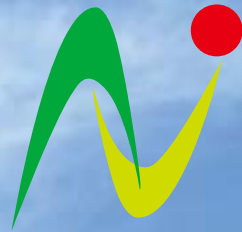


# なかがわ

広報

2012.9



No.84

●「読書の秋」です。図書館へ行こう!	2
●町職員の給与・定員管理を紹介します	6
●ホームステイウィークエンド ホストファミリー募集	8
●日独スポーツ少年団交流事業	12
●第2回那珂川町夢まつり〈夏〉	13





第84回

## 秋季特別展

— 広重と東海道展 — 保永堂版東海道・豎絵東海道を中心に—

歌川広重(1797~1858)は、150年以上前の日本の風景を数多く描いています。

今日でも江戸時代そのままの景観を残している場所もあれば、まったくの別世界になってしまった場所もあります。

特に東京は寺社仏閣や道路や河川などにその面影を残している場所もありますが、相対的にはほぼ全て変わってしまったと言っても過言ではないでしょう。逆に広重が描いた景観を多く残しているのが東海道をはじめとした街道です。今日では徒歩で東海道を歩き、当時の面影を探る旅行がブームになっていると聞きます。一度に東京から京都まで行くのではなく2から4宿場位に区切って旅をするので老若男女だれでも参加できるようです。ただし江戸時代は目的を持った旅なので東海道の場合は約500kmの距離を約二週間かけた旅でした。旅の始まりは近所の人たちと水杯を交わし、道中で徒歩が疲れると馬や駕籠かごを利用し、川を渡る時には渡舟や川越人足に担がれ、疲れれば葦簀よしず張りの茶屋に寄り、宿場では平旅籠ひらしたごに泊まり名物や名産を食し、突然雨が降れば近くのお堂や農家の庭先に避難し、ごまのはい(詐欺師)に注意し、病にかからないよう旅を続けました。厳しさもあれば、いたわりのある旅でもあります。

今回紹介する作品は「東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景」です。日本橋は五街道の起点として今日でも変わりません。日本橋には七ツ立ち(午前4時頃)して国元に帰る大名行列の一行が渡っているところ



「東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景」

す。

橋の手前の左側には高札場があります。北詰には日本橋魚河岸ありました。天秤棒を担いだ魚や野菜の行商人がいます。反対側の子犬こいぬのいる場所は罪人の晒し場さらしでした。橋には擬宝珠が付けられ橋の格式を表しています。

馬頭広重美術館 館長 市川信也

- 【会 期】 前期 9月14日(金)~10月14日(日)
- 【休 館 日】 毎週月曜日(祝日除く)、祝日の翌日(9月22日は開館)
- 【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで(但し入館は4時30分まで)
- 【入 館 料】 大 人 700円(630円)  
高・大学生 400円(360円)

※( )は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

## ミニギャラリー

平成23年度 那珂川町観光写真コンテスト受賞作品

### ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品をここに出品してみませんか?

絵画、写真、絵手紙、手芸などの作品をお待ちしております。

申込み・問合せ…企画財政課  
☎0287-92-1114



入選「かけ橋」

阿部光雄さん(那須町)



入選「秋の足音」

渡部久恵さん(宇都宮市)